

知事コメント

令和3年9月9日(木)

本日政府において、沖縄県における緊急事態宣言期間の延長が決定されました。県内の感染状況は、県民の皆様お一人おひとりの感染対策への真摯なお取り組みにより、ようやく流行のピークを超え減少傾向がみられております。しかしながら、未だ陽性者数は高い水準にあり、医療機関は外来診療、予定手術等の制限により辛うじて医療体制を維持している状況です。

県は本日、対策本部会議を開き、感染者の確実な減少と医療体制を守りぬぐための措置の方針を決定致しました。その概要についてお知らせします。

今回沖縄県の措置期間は9月30日まで延長とされました。この延長期間には、連休を挟んでシルバーウィークが含まれております。昨年と同じ連休の後にそれまでの減少傾向が増加に転じた経験から、この期間の感染対策は非常に重要であると考えております。デルタ変異株の強力な感染力からすれば、相当の対応が必要です。

つきましては、県民の皆様には、以下の7つについて、特にお願いさせていただきます。

- ①感染症対策の切り札であるワクチンの早めの接種をお願いします
- ②日中も含めた不要不急の外出を自粛し、人との接触を減らしましょう
- ③子供達の感染を防ぐため、学校、塾、習い事等の感染対策を徹底するとともに、オンラインを積極的に活用しましょう
- ④都道府県間の移動・往來をやめてください
- ⑤離島間の往來をやめてください
- ⑥同居家族以外と接触する機会は作らないで下さい

そして県内で確認された事例では、友人同士でのドライブ中での感染事例等もございます。(ドライブの事例集を表示します)

- ⑦シルバーウィークは、職場同僚との飲み会や友人とのドライブ等は控えてください

また、人流抑制の観点から、シルバーウィークを含む大規模集客施設への土日祝日休業要請については、緊急事態措置の期間中延長致します。

しかしながら、県としましては、長らく事業者の皆様には強い措置をお願いしていることについて非常に心苦しく考えており、先般、県民の皆様に一層の感染対策をお願いし、「緊急事態宣言解除及び経済活動再開に向けた見通し」を示したところです。

本日までの感染者数の動向としましては、前週比0.7～0.8倍で推移しております。着実に新規陽性者数は減少していると考えており、ワクチン接種・検査陰性証明書の活用を検討するプロジェクトチームを設置することを決定致しました。

県としまして、県民の皆様にご協力を賜りながら、継続して数値が改善傾向で進み、早期に緊急事態措置の解除が出来るようお願い致します。

次に、今回国の基本的対処方針には、デルタ株が全国的にほぼ置き換わったとされる旨が追記されました。デルタ株はその感染力により多くの感染を発生させたのみならず、未成年の子どもたちの間に感染や入院事例をもたらしております。

子供を守るのは大人の責務です。特にワクチン接種を受けることができない12歳未満の子供たちを守るために、我々大人のできることは、感染対策を徹底して行うこと、感染対策の切り札であるワクチンを接種することです。

県は、今般各部局等で横断的に取り組む「子どもを守るプロジェクト」を重点プロジェクトとして位置づけました。

県内では、未成年者が陽性者全体の3割を占めております。県は夏休みが終わり子ども達の感染が拡大することを懸念しており、本プロジェクトでは児童生徒や保護者、教職員の健康管理を改めて呼びかけるとともに、抗原検査キットを活用することで感染の早期発見に努め、感染者が発生した場合にも迅速に行えるように図ってまいります。

また、児童相談所・市町村・保健所等と連携し、親が感染したことにより孤立してしまう児童の保護を図り、親元を離れ学寮で生活する生徒等についても、入寮時や体調不良時の検査を実施し、感染者発生時の宿泊療養施設の利用等についても対応してまいります。

また、学校等には、希望する教職員・児童生徒に対するワクチン優先接種の協力を要請してまいります。

なお、県は、先般ワクチン接種の機会の拡大のため、3つの接種センターにおいて対象年齢を「12歳以上」に引き下げるとともに、アストラゼネカ社製ワクチンの接種についても開始したところです。

加えまして、ワクチン接種の促進に向けて3つの取り組みを進めることと致しました。ひとつめが、予約の体制を改め当日の予約が可能となるようにし、若者世代にもワクチン接種を前向きに考えてもらうよう働きかけることで接種の加速化を図ります。次に接種センターにおける接種件数の拡充、3つめに高齢者施設等における未接種者の把握を9月中旬までに行い、関係機関等と連携し接種できるよう取り組んでまいります。

以上が沖縄県の対処方針の概要となります。

今回の国の基本的対処方針においては、ワクチンの有効性を踏まえつつも、ワクチン接種が先行した諸外国でも大規模な感染拡大がみられていることや、今後感染症の流行期である冬が到来することへの危機感が記載されております。

本県においても、ワクチン接種が順調にすすんでも、感染対策を怠れば、更に長期の緊急事態宣言に至ってしまうおそれもあります。今回延長された期間で確実に感染を抑え込み診療科目の休止や手術の延期等コロナ対応にひっ迫している医療体制の回復が見えるまで引き続き感染対策の徹底をお願い致します。何卒感染対策の徹底を宜しくお願い致します。